

# さわらび

2019. 3. 13 No. 33 文責：大塚

## さくらさん、聖くん、亮嘉くん。 ご卒業 おめでとうございます。

本校は昭和22年創立以来、1719名の卒業生がいますが、その方たちに続く皆さんです。

### 送 辞

白木蓮の蕾がふくらみ、頬をなでる風も春めいてきました。この素晴らしい日に、藤岡中学校を卒業される3名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

皆さんとの思い出はたくさんあります。

テーマ別の総合学習では、3年生が中心となって動いてくれました。1学期の新聞づくりのときには、文のまとめ方や書き方、レイアウトの仕方を教えてくれたので、とても楽しく活動することができました。

2学期に行われた、保・小・中合同学習発表会でも、昨年度までとは違う形で行うことになり、不安もあった中、リーダーとして引っ張ってくれた3年生。リコーダー演奏では、分かりやすくアドバイスをしてくれたさくらさん。2個、3個でパフォーマンスしていた亮嘉君と聖仁君のジャグリングは、とてもかっこ良かったです。

そして私が一番心に残っているのは、「ふるさと発見！四万十の子ども研究発表会」です。この発表会では、発表時間が決められていて、発表会までの期間もとても短かったけれど、休み時間や放課後などを使って、みんなで原稿を考え、練習しました。当日は、緊張もしたけれど、協力して取り組んできた日々を思い出し、一生懸命伝えることができました。特別賞もいただけて、とても嬉しく、いい思い出になりました。

運動会では、少ない人数で、不安なことたくさんあったけれど、3年生がみんなをまとめてくれました。応援合戦では、短い期間でダンスの振り付けを覚えなければいけない時に、3年生がアドバイスをしてくれたり、みんなのお手本になってくれたりしました。



おかげで、本番では中学生らしいパフォーマンスができ、楽しかったです。また、ダンスだけでなく、応援の時の声も大きくて、とても迫力がありました。



来年の運動会では、3年生に教わったことを生かして、頑張りたいです。

陸上大会では、みんなで協力して、しっかりとした取り組みをすることができました。種目別の練習の時には、初めてで分からないことの多い1年生に、丁寧に、そして優しく教えている姿は、今も心に残っています。また、大会本番でも、一生懸命取り組み、自分の記録に挑戦している姿に、わら中の伝統を感じました。

男子の部活動では、1学期は3年生2人と1年生の3人で野球部でした。初めはわからない事や上手くいかないところもたくさんあったけど、3年生が基礎から、丁寧に教えてくれたので、少しずつですが、上手にできるようになりました。3年生は打つのも投げるのもとても上手で、かっこ良かったです。放課後の練習では、1年生が遅れても、文句1つ言わず待ってくれたし、「がんばれ」と励ましてくれたので、うれしかったです。

聖仁君はバッティング練習のときに、うまくできなくて顔とかに当たりそうになることもたくさんあったけど、怒らずいつもコツを教えてくれて、優しくしてくれました。生活面では、生徒会副会長として、さくらさんと一緒に1年間がんばってくれました。英語が上手で、いつもみんなを笑わせてくれて楽しかったです。

亮嘉君は、キャプテンとして、いつもみんなをまとめてくれて、いろいろとアドバイスをしてくれました。キャッチボールでも、ねらった所に上手く投げられない時は、お手本を見せてくれ、優しく教えてくれました。そして、1年間、学級委員長と専門部を掛けもちで努めてくれていましたね。走るのが速くて、どんなことにも一生懸命取り組む姿勢は、見習いたいと思いました。

そして、1学期の間女子陸上部として一緒に活動していたさくらさんは、尊敬する先輩です。一緒に活動していく中で大変なことも多かったけど、部活動の休憩中にする会話が、とても楽しかったことを覚えています。

また、2年生の3学期から、1年間生徒会長を務めていて、学校全体をまとめてくれて、とても頼り



になりました。来年からは、私もそんな生徒会長を目指し、よりよい学校を作りたいと思います。

さくらさん、聖仁くん、亮嘉くん、たくさんの思い出ありがとうございました。明日から、同じ教室で朝夕の学活ができないと思うと、とても寂しいです。時々はこの蕨岡中学校での日々を思い出し、それぞれの夢に向かって、一歩ずつ歩いていってください。

最後になりましたが、卒業生の今後の御活躍と、これからの未来が笑顔にあふれていることを願って、送辞とさせていただきます。

平成31年3月13日

在校生代表 松田 花奈

## 答 辞

肌を刺すような冷たい寒さがいつのまにか和らぎ、吹く風にも春の訪れを感じるようになりました。私たちは多くの人に支えられ、今日この日を迎えることができ、心から感謝しています。

3年前、家族に見守られながら、真新しい制服に身を包み、この蕨岡中学校の一員となった日のことが、つい昨日のことに感じられます。あれから月日が経ち、私たちの心の中には3年間の思い出がたくさんつまっています。

一番心に残っているのはやはり部活動です。男子は、1年から2年の秋までソフトボール部、2年の秋からは野球部として活動しました。1年生までは、蕨岡中学校単独でチームを組み、試合に出場しました。最初の頃はまだ体も小さく、体力もなかったため、毎日の練習がとても大変でした。1年生の秋からは窪川中学校、北ノ川中学校と合同チームを組みました。慣れない合同チームでの練習や試合があり、苦勞しました。しかし先輩に負けじと一生懸命練習に取り組み、試合にも出場し、チームに貢献することができました。2年の秋からは中村西中学校と合同で野球をしました。平日はたった2人での練習。2人だけで大変なこともありましたが、毎日努力を積み重ね、試合に勝った時や活躍できた時はとても嬉しかったです。



女子は、1年生から2年生の2学期まではバレーボール部として活動しました。

1年生の1学期から県総体までは八束中学校と、新チームからは中村中学校と合同でチームを組みました。最初はうまくいかずに怒られることも多く、土日も休みが少なかったため、練習に行きたくない日もありました。でも、練習を積み重ね、県総体でベスト16まで残れた時はすごく嬉しかったです。2年生の夏からは花奈さんと2人だけで文化陸上部、3年生からは女子陸上部として活動しました。大会が近づき、土曜日に練習が入ってくると、へとへとになって家に帰ることもありましたが、それでも、陸上大会では砲丸投げで4位に入賞することができ、暑い日もがんばって来て良かったと思います。部活を通して「仲間と声を掛け合う大切さ」を知りました。このことを、高校に行っても、忘れず活かしていきたいと思っています。



3泊4日かけて、2・3年生合同で大阪・京都へ行った修学旅行。阿倍野防災センターでは、防災について学びました。被災した街並みが再現された場所では、家屋が潰されていたり、火が発生していたりと、自然災害の恐ろしさを感じました。京都の自主研修では、事前にコースを決めて向かいました。さまざまなお寺をめぐる中で、そのお寺の歴史に触れられたような気がします。特に金閣寺を見たときは、教科書にのっていたものを自分たちの目で見る事ができ、とても興奮したことを覚えています。京都の道は広くて人も多く、迷うこともありましたが、京都の人々が優しく道を教えてくれ、人の温かさを知ることができました。3日目のUSJでは、各班で好きなところに行き、1日中遊びまわりました。ジェットコースターはとても怖かったです。また、新しくできたハリーポッターのアトラクションは、実際に自分たちがその世界にいるような気がしました。3泊4日は長かったですが、友達と生活するのは新鮮で楽しかったです。

そして、中学校最後の運動会。応援は人数が少ないために、赤・白いっしょにダンスを踊りました。練習を始めた頃は、振り付けが難しく、みんなの動きがバラバラで、正直本番まで間に合わないとも思いました。しかし練習をしていくうち、互いに教えあいながらどんどん上達して、本番では最後までやりとげることができました。競技でも、保護者の方や地域の方々、ボランティアとして参加してくれた中村高校の皆さん、色々な人の協力があって、運動会を充実させることができ、とても感謝しています。

八束・大用・蕨岡中学校の3校合同で参加した音

楽祭では、合同練習がたったの3回しかなく、とても苦労しました。大勢の人数では音を合わせるだけでも大変で、何度も音が途切れてしまうこともありましたが、しかし、それぞれが音楽の授業で練習を重ね、本番では3校みんなの音がきれいに重なりました。何度も練習をして交流を深めることで、音も合うようになり、本番では最後までやり抜くことができたのだと思います。

今年度初めて行われた、土佐の小京都550年祭ふるさと発見！四万十の子ども研究発表会も楽しい思い出です。学習発表会の時よりも発表内容や時間を短くしなくてはならず、最初にやった発表練習はぐだぐだで、マイクを持っていても声が小さい時がありました。でも、どこが悪かったか、どこを直せばいいのかをみんなで話し合い、出発直前まで練習を重ねました。いよいよ迎えた本番では、他の学校に負けない発表をしようと、初めて練習した時よりも移動の仕方や声の大きさも良くなり、特別賞に選ばれました。最後まで協力しあって、表彰状を受け取れたことはとてもうれしかったです。

たくさんの思い出がこの学校につまっています、1つ1つの場所、出会った1人1人にもたくさんの感謝と思い出がつまっています。

先生方へ。今年は昨年度よりも人数が少なくなり、先生方に頼りっぱなしな部分がたくさんありましたが、いつも親身に、時に厳しく接してくれました。校長先生、たくさんの人と出会える機会をつくってくれてありがとうございました。松葉川さんや松井先生の話聞いて、将来の夢について深く考えられるようになりました。教頭先生、授業中に先生の高校時代の話や、好きな鉄道の話などたくさん聞けて楽しかったです。また、英検の時にはたくさんサポートをしてくれてありがとうございました。有田先生、3年間数学と部活でお世話になりました。入試に向け、平日は6時半まで、土日朝から来てくれてありがとうございました。おかげで入試当日は緊張することもなく、落ち着いて臨むことができました。岡崎先生、社会の時間に黒板に書いてくれる地図が見やすく、公民では何回も言っていた憲法の9条、13条、25条は覚えられました。林先生、3年間お世話になりました。詩や物語を読んでもらった時に、会話文では感情を込めたり、強弱をつ

けたり、抑揚をつけて読んでくれたので、内容がすぐに頭に入ってきました。芝先生、理科の時に星座の神話の話をしてくれたり、わからないところがあれば分かるまで丁寧に教えてくれてありがとうございました。上岡さん、いつも花の手入れをしてくれたり、寒い日には「今日は寒いね」と話しかけてくれたり、とても嬉しかったです。ありがとうございました。

今まで育ててくれたお母さん、家族へ。部活の遠征や合同練習、試合の時には休みを取って応援や送り迎えをしてくれました。お弁当がある日も、「いや」と言いながら美味しいお弁当を作ってくれて嬉しかったです。また運動会をはじめ、たくさんの行事にも参加してくれ、とても助かりました。なんども怒られ、ケンカする時もありましたが、いつも支えてくれてありがとうございました。これからも迷惑をかけるとは思いますが、よろしくをお願いします。

いつも見守ってくれた地域の皆さんへ。色々な行事に参加してくれたり見に来てくれたり、協力してくれたおかげで、いつも楽しく達成感のある行事にすることができました。本当にありがとうございました。

最後に在校生の皆さんへ。これからの蕨岡中学校はさらに人数が減り、大変なことも増えていくかもしれません。しかし、みんなで考え、協力し、力を合わせて1つ1つを乗り越えていってください。

私たち3名は、たくさんの思い出がつまった蕨岡中学校を、今、巣立とうとしています。これから先、私たちが歩む道は決して簡単な道ではありません。ですが、蕨岡中学校で学んだ「最後まで諦めない」、このことを胸に、それぞれの将来に向け努力することを誓い、答辞とさせていただきます。

平成31年3月13日

答辞作成委員 外田さくら 福留聖仁 森亮嘉

卒業生代表 森 亮嘉

